

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
19	東京純心大学	リトミック I	平島 美保 現代文化学部 非常勤講師	1	前期	木	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. 身体活動に必要な空間や動きを意識化し表現できる
2. 音楽の諸要素を理解し、表現できる
3. 動きや音楽の創作ができる
4. 仲間とのコミュニケーションを取りながら、創作活動ができる

【授業の概要】

音楽を聴いて無意識に身体を動かした経験のある方が多いのではないだろうか。音楽は身体を反応させる力を持っており、それを応用し音楽を「体得」していく方法が、エミール・ジャック=ダルクローズによって考案されたリトミックというメソッドである。リトミックは音楽の諸要素を身体活動をとおして理解していく方法であり、それを実行するには「空間」を必要とする。この授業では、その「空間」を意識しながら身体を動かし、音楽の諸要素を体験を通して再確認していく。特にリトミック I では、身体活動に必要な「空間と動きの関係」「空間と速度の関係」「空間と強弱の関係」を意識化し、基本的な動きである、歩く・走る・揺れる・跳ぶ等を音楽の持つニュアンスと共に体験し、自分自身の答えを導くことが出来るリズムカルな身体となることを目指す。また、ダルクローズメソッドを構築しているひとつであるソルフェージュ力を高めるために「音」に対する感覚を培うことを目指す。

【授業内容】

1. ・授業に臨む心構えと授業についてのガイダンス ・「ダルクローズリトミック」について
2. ・様々な動きへの認識と動くために必要な空間を知る活動 ・音階とその方向性を知る活動、及び主音を感じ取る活動
3. ・動きと空間と動きに必要なエネルギーの関係を知る活動 ・音階とその方向性、全音音程を認識する活動、及び主音を感じ取る活動
4. ・ダイナミクス(強弱)のニュアンスとその表現活動とグループによる動きの発表 ・半音音程を認識する活動、及び主音を感じ取る活動
5. ・オノマトペ(1)一文字を用いた表現活動とグループによる動きの発表 ・全音と半音の違いの聴き分け、歌い分け、及び主音を感じ取る活動
6. ・オノマトペ(2)ライン等の図形を使った表現活動とグループによる図形の制作 ・全音と半音の違いの聴き分け、歌い分け、及び主音を感じ取る活動
7. ・オノマトペ(3)ライン等の図形を使った表現活動、及びグループによる発表 ・全音と半音の違いの聴き分け、歌い分け、及び主音を感じ取る活動
8. ・基本になる音符(4分音符・2分音符・8分音符)とそれを用いた「リズムパターン」「リズムフレーズ」の体験 ・音階上の3つの音の並びとその方向を知る
9. ・音楽の要素であり基本となる「拍」、及び「拍子」について ・主音から始まる3つの音の並びの活動
10. ・音楽の要素であり基本となる「拍」について (1)縦揺れの拍と横揺れの拍 ・主音から始まる3つの音の並びの活動
11. ・音楽の要素であり基本となる「拍」について (2)縦揺れの拍(2分割拍)の分割形 ・主音から始まる5つの音の並びの活動
12. ・基本になる音符と「16分音符」を用いた分割パターン、言葉の持つリズムと音楽上のリズムの体験 (1)分割形の紹介、及びそのニュアンスの違いの体験活動
13. ・基本になる音符と「16分音符」を用いた分割パターン、言葉の持つリズムと音楽上のリズムの体験 (2)分割形を用いたリズム作成
14. ・基本になる音符と「16分音符」を用いた分割パターン、言葉の持つリズムと音楽上のリズムの体験 (3)分割形を表現する活動
15. ・基本になる音符と「16分音符」を用いた分割パターン、言葉の持つリズムと音楽上のリズムの体験 (4)「いとまき」の歌を用いて分割形を表現する活動、及びグループによる発表

【成績評価方法】

グループで行う「動き、表現」の作品、提出物、グループ活動における参加度(平常点)で評価する。
動き、表現活動作品 80%、提出物 10%、平常点 10%

【教科書】

特になし。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書、教材等】

「音楽教育メソッドの比較」R.エイブラムソン他 著 板野和彦 訳 全音楽譜出版社
「ダルクローズのリトミック」E.バンドゥレスパー著 石丸由理 訳 ドレミ出版

※ この授業は、4/7(木)が初回です。